

## 働くとは何か

- 一生勉強、一生青春 -

株式会社 開倫塾

代表取締役 社長 林 明夫

(社団法人経済同友会 幹事)

<はじめに> 自己紹介

### 1. 働くとは何か = 仕事をする事

#### (1) 仕事をするとは何か。

「製品」や「サービス」を「お客様」に提供すること。

ただし、お客様の「問題解決」にならなければ、仕事をしたことにはならない。お客様の「お役に立つ」仕事をしたとはいえない。

「仕事」とは、お客様の「問題解決」になることで、お客様のお役に立つこと。

#### (2) 何のために働くのか。(働く目的とは)

「生活できるだけの収入」を得るため。

仕事を通して「自己実現」するため。

このような仕事のことを「ディーセント・ワーク」(Decent Work)、ちゃんとした仕事とよびます。

「ディーセント・ワーク」に就(つ)くことをめざそう。

#### (3) 仕事はいつまでするのか。(何歳まで働き続けたらよいのか)

一生涯働き続けること(生涯現役)も素晴らしい。

ただし、仕事にはたくさんの種類がある。どのような仕事にも必ず「社会的使命(mission、ミッション)」がある。

一つひとつの仕事の「社会的使命(ミッション)」とは何かをよく考え、その上でお客様の「問題解決」になることで、お客様のお役に立つことをめざそう。

そう考えれば、何歳になってもいろいろな形で仕事をし続けることはできる。「生涯現役」で働き続けることができる。

### 2. 「ディーセント・ワーク(Decent Work、ちゃんとした仕事)」に就くには

#### (1) 小学校・中学校で学ぶことを完全に身につけておくことは不可欠(ふかけつ)。

全科目すべて役に立つものばかり。

「欠席」「遅刻」「早退」「忘れ物」「おしゃべり」「居眠り」などをしないことも大事。

整理(せいり)、整頓(せいとん)、そうじ、後片付けができることも大事。

「躰(しつけ)」が身につけていることも大事。

( ) 「美しい立居振る舞い(たちいふるまい)」(「服装第一」ガラシナ系は認められない)

( ) 「敬語表現を含む言葉づかい」(「です、ます」調で話せること)

人の話を最後まで、相手の目を見て聞くことができること、必要なことは「メモ」を取り続けることができることも大事。

「仕事」のよくできる人は、人の話を最後までメモを取り続けながら聞き、そのメモを何十回も読み直し、自分のものとして身につける能力のある人が多い。

これは、学校での授業の受け方、復習の仕方と全く同じ。

「勉強の方法」をいつも考えることが大事。

## (2) 一生涯にわたって勉強しよう。

高校、大学(短期大学、専門学校)、大学院にもどんどん行こう。

何歳になっても行くことを考えよう。外国の学校にも行ってみよう。

本はゆっくり毎日読もう。

本を読んで考えよう。気に入ったところは、たとえ一行でも「書き抜き読書ノート」に書き写そう。「書き抜き読書ノート」は一生の宝物。何十回、何百回も「音読」しよう。

新聞を(1日1時間)毎日読んで考えよう。

日本のように新聞が自由に読める国は少ない。(毎朝、毎夕新聞が家に届く)

「1日1記事の切り抜き」をしよう。切り抜いた記事を「音読」し、世界や日本、地域の動きを実感しよう。

やって良いこと、悪いことを知ることができるのも新聞。

世の中の動きを知った上で仕事をするのは大切。

師匠(ししょう)となる人(お手本となる人)をもとう。

「師匠」捜しをしよう。

励まし合う仲間をもとう。

励まし合う仲間づくりをしよう。

## (3) 「健康第一」

「心の健康」 { 1日1回は自分を見つめなおそう。

{ 1日1回はホッとできる時間をもとう。

「体の健康」 { 一生、楽しんでできる運動を身につけよう。(スポーツ、エクササイズ)

{ 「早寝、早起き、朝ごはん」

<役に立つ科目>

・「保健体育」...病気にならない身体づくりをしよう。「病気とは闘おう！」

・「技術家庭」...自分のことは自分でできるようにしよう。

・「美術」...毎月1回は美術館に行こう。 } 東京は、世界中の人々が

・「音楽」...よい音楽に親しもう。 } あこがれる「音楽と美術の都」。

3 . おわりに - 夢、目標をもって生きよう -

(1) 私の中学校時代の夢

弁護士になること。

英語がよくできるようになること。

柔道が強くなること。

(2) 私の好きなことば - 好きなことばを大切に -

「自他共栄」自分も他人も共に栄えよう 栃木県足利市立山辺中学校柔道部 椎名弘先生

「ブルドック魂」食いついたら離すな 栃木県足利市立山辺中学校担任 岡田忠治先生

「一所懸命」一つの所で命を懸けるくらい熱心に

栃木県立足利高校 マラソン大会の合い言葉

「独立自尊」国も個人も独りで立ってはじめて自らを尊ぶ(大切にすること)ができる

慶應義塾の創始者 福沢諭吉(ふくざわゆきち)先生

「会った人は皆友達」一期一会(いちごいちえ)、一つ一つの出会いを大切に

京都 一燈園(いっとうえん) 石川洋先生

「教育ある人」とは(一死死ぬ前の日まで)勉強し続ける人 経営学者 ドラッカー先生

「一生勉強、一生青春」足利市に在住した書家 相田みつを先生

(3) 私の仕事(開倫塾以外の仕事)

マニー株式会社 社外取締役

特別養護老人ホーム 清明苑 理事

東日本高等学院 評議員

宇都宮大学大学院情報工学研究科 非常勤講師

開倫ユネスコ協会 会長

ラジオ栃木放送(CRT)「開倫塾の時間」毎週土曜日 9:15 ~ 9:25am 一人で 担当(18年目)

- 御清聴を感謝いたします。 -

以上

- memo(質問) -

御質問や御意見があれば御遠慮なくどうぞ。  
林 明夫 〒326-8505 栃木県足利市堀込町 145  
e-mail akio@kairin.co.jp